

海外だより

外国の気象観測所めぐり (5)

—公共事業省バリ地区出張所 (インドネシア)

—8°40' S, 115°10'—

ジャワ島の東につづいて観光で有名なバリ島がある。四国の半分ぐらいで、東に向いて泳いでいるかのような形をしている。背骨に相当する東西にはしる火山脈があり、最高峰のグヌン・アグンは3300mほどの富士山型の山である。この山の北斜面は急斜面で、南斜面はゆるやかに平野部へつづいている。西の尻尾の部分はジャングル地帯で人もほとんど住んでいない。住民は熱心な仏教信者で、年中仏をまつる行事にあけくれているようにさえ感ぜられる。本当の寺院と一般の民家や官公庁の建物とを見わけるのがむづかしいぐらいである。1973年正月にわたしたちが訪れたこの島最大の街デンパサールにある公共事業省のバリ地区出張所も、外から見た感じではお寺ではないかと思うぐらいである。人のよさそうな職員が数人出て来て、いろいろ説明してくれた。この島はジャワ島にくらべて暑さもしのぎやすく、しかも年中ほとんど気温差がないので大変暮らしやすいところである。しかし10月から翌年の4月頃までの雨季と残りの乾季との区別はかなりはっきりしている。わたしたちはジープで島の東南部を案内してもらった。数年前にアグ

ン山が噴火した時、この山から南に流れるテラガワヅァ河の流域には大量の火山灰が積った。噴火後はじめての大雨でこの河は泥流となり、河口にあった村は完全に泥の下に埋ってしまったそうだ。わたしたちは一面の火山灰の泥におおわれた河口洲の上に立って、この下に多くの人の生命が今も埋っていると聞き、はるか日本の九州のシラス台地の災害を思い出した。河口洲の上の新しい流路には、水浴ぎの女性たちが洗濯物や水桶を頭に乗せて楽しそうに集っていた。このような災害は少なくとも予知は出来るのではないかと考えこんでいるわたしたちを今度は上流のダム建設地へ案内してくれた。火山灰の積み上がった斜面は折からの雨に濡れて青黒く、新しい河筋が泥土を載るような形で流れていた。その軟弱な地盤の上に泥流を防ぐための砂防ダムが建設中である。材料は石灰と煉瓦の紛を混ぜたようなもので、基礎もあまり深くなく、素人のわたしたちにも何となく危っかしい感じである。二次災害がないかというわたしたちの質問も、人のよさそうな案内者にはそれ程深刻に受けとめられなかったようである。(京大防災研, 中島暢太郎)

気象学用語集発行のお知らせ

文部省著作気象学会発行学術用語集

「気象学編」B 6 版 172 頁

が発行されました。会員には一冊1,200円+送料120円にて頒布します。御希望の方は現金を添えて12月31日ま

で事務局あて御申込み下さい。但し送料は郵便料金に変更された場合は、その金額にてお願いします。(本書の定価は1,400円です。)

(用語委員会)

正誤表 (下記の通り誤植がありましたので、お詫びして訂正します)

巻一号	ページ	行または場所	誤	正
22-10	555	新入会員(4142)	北国敬三	北岡敬三
〃	568	左・上 14	木田秀次* (東大論文博士)	木田秀次* (東大課程博士)
〃	578	左・上 6	…“気流攪乱”…	…“気流擾乱”…
〃	〃	左・下 5	…製作した精的な模型…	…製作した精確な模型…
〃	〃	右・上 12	…風速のほかに風洞…	…風速のほかに風向…
〃	〃	右・上 18	…どのようにして変化して…	…どのように変化して…
〃	〃	右・下 15	実験の建造物に…	実際の建造物に…